

# しっかり読んで、ゴキゲンな釣行を!! レンタル釣具 **安心ガイド** スピニングルアーセット

ブラックバス・シーバス パージョン

釣具のレンタル、ありがとうございました。当ガイドは、「明日の釣りに必要なもの」から「釣るための準備と注意点」、「釣り方のコツ」を紹介していますので、一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けて下さいね!!

## ★出掛ける前に必要な小物やルアーを購入

このリストを釣具店の店員さんに見せて用意しよう!

**お買い物リスト**

- ルアー 2~3種** 出掛ける場所ごとにヒットルアーがあります。釣具店の店員さんに相談して2~3種類を用意。
- スナップ付きヨリモドシ** 12号前後を2~3個
- フィールドプライヤー 1つ** ハリ外しにも使えるハサミ。
- 偏光サングラス 1つ** 水中を見やすく、安全面にも役立つ釣り用サングラス。
- ガン玉セット** 重さ5Bくらいまで入っているセットを1つ
- オフセットフック** 大きき#1~1/0番を1袋
- ジグヘッド** 重さ1/2ozまでを2~3個

**ソフトルアー使用時に必要**

- クラックベイト** ミノー
- ソフトルアー** ソフトルアー

一般的には、表層を探るのに適しているプラグ系のフローティングミノー(10cm前後)、中層を探るのに適しているクラックベイト(7cm前後)、ボトムまで沈むバイブレーション(6~8cm前後)。実績が高いソフトルアー(2~3種)を用意すれば万全。

## ★釣るための準備

釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣行を!

### 【スピニングリールの特徴】

ベールアームが回転して糸を巻き取るタイプ。

- ストッパーレバー** 通常はラインを巻き取る方向で固定する。
- ベールアーム** ここに道糸を通して巻く。キャストする時は開く。
- ドラグ** ここを締めることで道糸にブレーキがかかる。また緩めると道糸が出やすくなる。
- ハンドル** 道糸を巻くためのとって。

### ハンドルを交換して使いやすくしよう

- ① ハンドルの反対に付いているキャップを外す。
- ② 10円玉などの硬貨でネジを回してネジ止めごと抜き、ハンドルも外す。
- ③ ネジとハンドルを入れ替えて差し込み、ネジを締め、キャップを付けて完了。

### 【釣具のセッティング】

1~3の順でセットしよう

作業は、ロッドをつなぎ、ライン(道糸)をガイドに通し、ルアーと結ぶだけです。ロッドの穂先(先端部)はデリケートなので、やさしく扱しましょうね!

- 1
- 2
- 3

※大型にそなえ、システムラインを組むことも覚えておこう。詳しくは、ゴールドマニュアルブックP130~をチェック!

### 1 ロッドを組み立てる

穂先から順に継いでいくこと。継ぎ目の根元を持ち、ジョイント部を合わせ、軽くねじ込むように押し込む。ラインを通すガイドを一直線にすることも忘れずに!

良い例・悪い例

### 2 ベールアームを起こし、ラインをガイドに通す

リールのベールアームを起こし、リールに近いガイドから順序良く通す。先端のガイドまでラインを通しきったら、ゆとりを持たせてベールアームを戻す。

### 3 ラインの先端をルアー、またはスナップ付きヨリモドシに結んで完了

※どちらも下記クリンチノットで対応。

### ドラグ調整も行おう

リールの一番上のつまみを回して圧を調整。ファイト中、魚の引きにハリスやリーダーが耐えきれず負ける(切れる)寸前に、ラインが出るようにセットするのが理想的。詳しくは、ゴールドマニュアルブックP133ページをチェック!

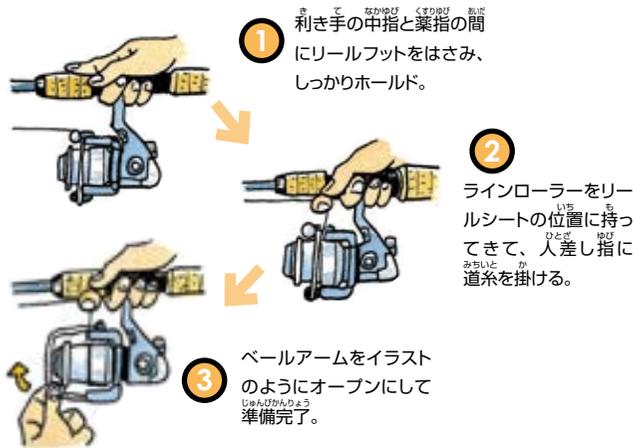
### ソフトルアーにオフセットフックをセット

- ① ソフトルアー先端の中央部にハリ先を刺す。
- ② クラック状に曲がっている軸の長さ分を刺し込んで、ハリ先を抜く。
- ③ 軸まで刺し込んだら180度反転させる。
- ④ 予めソフトルアーとフックを重ねて、ハリ先のふところ(曲がり)がボディを横断するラインを確認。
- ⑤ ソフトルアーの伸縮性とふところの長さを考慮して、イラストのようにソフトルアーのボディを曲げ、④のラインにハリが入るように刺し込む。
- ⑥ ボディを貫通させ、ソフトルアーを真っ直ぐにする。
- ⑦ ハリ先を2mm程ボディに埋め、根がかり防止対策をして完了。

※裏面は、釣るためのテクニックを紹介!!

# キャストタイミング

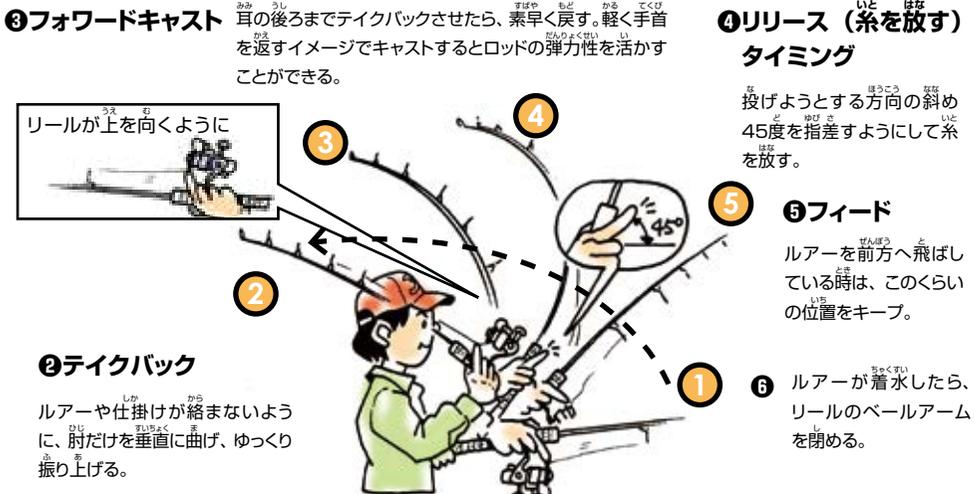
キャストに入る前は、ロッドをしっかり握って備えよう。



- 1 利き手の中指と薬指の間にリールフットをはさみ、しっかりホールド。
- 2 ラインローラーをリールシート（位置）を持ってきて、人差し指に道糸を掛ける。
- 3 ベールアームをイラストのようにオープンにして準備完了。



**①アドレス**  
脇を締めて、狙うポイントの正面にロッドを向けてイラストのように構える。ルアーのたらし（穂先からルアーまでの距離）は10～15cmにする。



**②テイクバック**  
ルアーや仕掛けが絡まないように、肘だけを垂直に曲げ、ゆっくり振り上げる。

**③フォワードキャスト**  
耳の後ろまでテイクバックさせたら、素早く戻す。軽く手首を返すイメージでキャストするとロッドの弾力性を活かすことができる。

**④リリース（糸を放す）タイミング**  
投げようとする方向の斜め45度を指差すようにして糸を放す。

**⑤フィード**  
ルアーを前方へ飛ばしている時は、このくらいの位置をキープ。

**⑥** ルアーが着水したら、リールのベールアームを閉める。

**※回収時のルアーの巻き込み過ぎに注意!**

穂先を痛める一番の原因で、結果、破損、釣りが出来なくなる…。ルアーが水面に見えたらリールを巻くのを止めて、距離を確認。手元にくるように回収しよう。

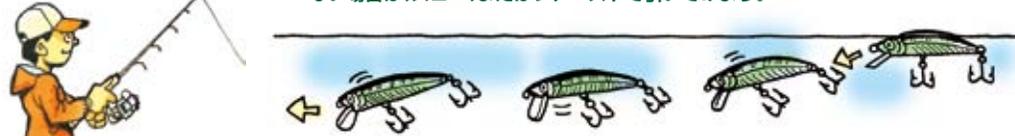
**※むやみにロッドを地面に置かない!**  
自分はもちろん、他人にも踏まれて折れることがよくあります。ロッドを置く場合は、荷物に立て掛けるなど、竿を目立つ場所に置くように!!

## ★釣り方のコツ：ブラックバス編

### プラグ系ルアーは3つのアクションで誘う!

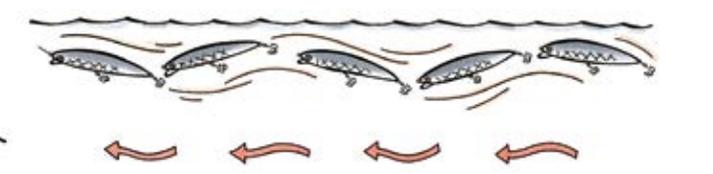
#### ステディーリトリブ

リトリブ（ルアーを引く）の早さは、ミディアムスピード。反応がない場合は、スロー、またはファーストで引いてみよう。



ルアー本来の動きで誘うアクション。一定のスピードでリールを巻くだけ。

#### ストップ&ゴー



魚に食わせのタイミングを与えるアクション。リールを巻いては止めるを繰り返し、止めた時に食わせる。

#### トゥイツチング



ルアーがイレギュラーな動きをするアクション。リールを巻きながら、ロッドの穂先をチョンチョンとアオって誘う。

**★ポイントはココ**  
水草や杭、大岩、カケアガリなど、ストラクチャー（障害物）周りに身を潜め、ベイト（小魚や小さな虫や動物）が近づくと待ち構えている。主な棲息地は湖沼だが、河川、野池にも分布。

## ソフトルアーの基本は「ズル引き」!

ソフトルアーのリグ（仕掛け）には、シンカー（オモリ）を付けるいくつかのタイプとノーシンカーがあるが、基本的には、ボトム（底）までルアーを落として、ズルズル引いては止めるを繰り返す「ズル引き」で誘う。

ただ場所によっては障害物などが多い場合もあるので、そんな時のためにいくつかテクニックを紹介しておこう。



#### ボトムパンピング



#### 落とし込み&シェイキング

ダウンショットリグがノーシンカーリグが効果的。落とし込みは、どちらもルアーをポイントの真上から自然に落とすだけでOK。ダウンは、オモリでボトムをとらえたら、竿先を震わせるシェイキングで誘うと一層、効果的だ。

## ★釣り方のコツ：シーバス編

### 2種類のルアーでベイトがいる場所を探る!

フローティングミノールとパイブレーション、この2種類のルアーを用意しよう。このふたつがあれば、レンジ（深さ）を分けて探ることができ、たいいていの場所が攻略できる。

表層付近までやってきている活性の高いシーバスをミノールでチェック。反応がなければパイブで中層から底までを攻める。探りの基本はスローリトリブがベスト。

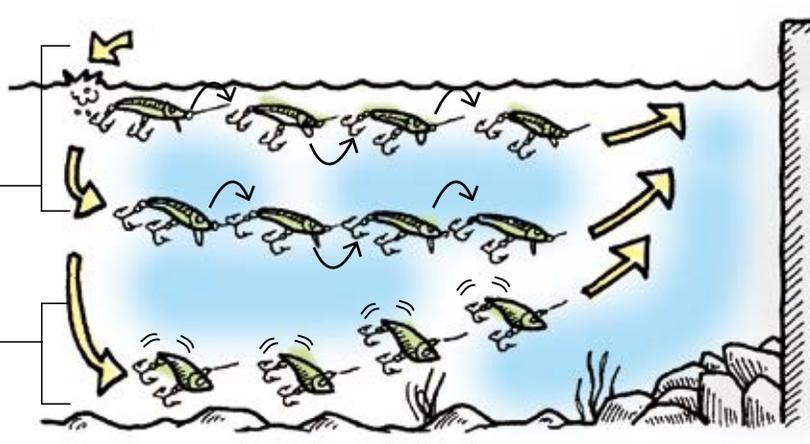
#### フローティングミノール

ゆっくりリトリブすると表層付近を漂い、早く引くと1mくらいまで潜航する。

#### パイブレーション

底まで沈むタイプだから、着水したらカウントを数え、秒数ごとにレンジを探ろう。

**★ポイントはココ**  
貪欲なフィッシュイーターで、海水はもちろん、ベイト（エサとなる小魚）が集まる場所なら、川の中でも狙える。基本的にストラクチャー（障害物）に身を潜めて、食うチャンスを狙っているぞ。



### ※かたづけ上手は、釣り上手!

返却日前日までに、しっかりお手入れを!!

レンタル釣具は、返却日までにはお手入れをし、元通りに梱包しておこう。また釣具にキズを付いたり、壊してしまった場合は、その箇所をメモに残して箱の中に入れておいてね。

**ロッドをたたむ場合は…**

バッド部の継ぎ目から順に外して行く。ジョイント部がキック締まっている場合は、継ぎ目の部分を持ち、雑巾を絞るようにネジリながら引くとうまく抜けるよ。くれぐれも先端を持って外さないこと。穂先が折れてしまいますからね。